

聖籠町総合計画審議会 第3部会（行財政）

第2回議事要旨

日 時	令和7年10月22日（水）14時00分～15時00分
場 所	聖籠町役場2階第1会議室
出席委員	渡邊委員（部会長）、鷺見会長、堀委員
事務局	小林総務課長補佐、鈴木総務課長補佐、足立税務課長補佐、渡邊総合政策課長補佐、高橋主事
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 部会長 あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 第1回第3部会における意見を踏まえた修正案について</p> <p>① 資料No. 1</p> <p>第5章 I 多様な人々がつながり、誰もが活躍できる地域づくり（P132～P137）</p> <p>② 資料 No.2</p> <p>第5章 II 将来を見据えた持続可能な行財政運営（P138～P141）</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>
要 旨 (検討内容)	<p>3 議事(1)①～②</p> <p>○事務局から第5章「I 多様な人々がつながり、誰もが活躍できる地域づくり（P132～P137）」、「II 持続可能な行財政運営（P138～P141）」について説明 （説明者：小林総務課長補佐、鈴木総務課長補佐、渡邊総合政策課長補佐）</p> <p>～説明後の検討意見～</p> <p>○【第5章「I 多様な人々がつながり、誰もが活躍できる地域づくり」】 委員からの意見なし</p> <p>○【第5章「II 将来を見据えた持続可能な行財政運営」】</p> <p><広域的な行政連携の推進について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化という要因を追加した理由は。 ⇒老朽化が進むと建物が危険となり使えなくなるが、修繕費も十分でなく、施設の全体量が縮減するという意味で追加した。 ・「老朽化で縮減する」と記載する場合、老朽化した建物を全て除却すると捉えられるため、表現を「人口減少や『施設の老朽化等により』維持できるサービスや施設の全体量も縮減する中で」に修正したらどうか。 ⇒修正し、別途案を示す。 <p><人材育成と組織力の向上について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・階層ごとの研修を通じて役職に応じた意識やマネジメントスキルを「身につけさせるとともに」ではなく「身につけるとともに」という表現の方が理解し易い。 ⇒修正し、別途案を示す。 ・具体的な研修体系は。

⇒階層ごとの研修については、職位ごとの研修と職位に求められる専門研修を行っている。また、人材育成の基本方針の見直しを今年度行う予定。

<デジタル化に向けた取組について>

(他部会の委員からの意見)

・マイナンバーカードの利用に関して、マイナンバーカードの普及率が上昇したため、住民票等のコンビニ交付サービスを実現できないか。前期計画では「サービスの拡充を検討します」とあるが、「実施します」等さらに進んだ表現にできないか。

⇒(事務局)

・以前に導入経費・維持経費を試算し、導入を検討したが費用対効果の点から導入に至っていない。今後、デジタル活用推進計画を策定し、住民票のコンビニ交付サービスを含めたデジタル活用のあり方検討を行っていく。コンビニ交付や電子申請等のどの手段が経済的であるか、利便性が高いかという点も含めて検討する。現時点では、「段階的に実施する」という記載はしないが具体的な検討を行っていく。

・カードの普及率がどれだけ上がればコンビニ交付を実施するといった基準はあるか。

⇒基準は定めていないが、他自治体の事例も確認しながら検討する。

以 上